

食品事業における取り組み



お客様に安心してお召し上がりいただくために

私たちJTグループは「一番大切な人に食べてもらいたい」という想いのもと、お客様に安全で、かつ安心してお召し上がりいただける商品づくりを目指しています。そのためにJTグループでは、従来から「リスク低減に向けた取り組み」「お客様への対応の強化」「組織・体制の強化」を柱とする最高水準の安全管理の取り組みを推進してきました。

「リスク低減に向けた取り組み」に関しては、サプライチェーンにおける厳格な安全管理が課題と考え、国内外の原料調達をはじめ製造工場などでさまざまな取り組みを推進してきました。「お客様への対応の強化」の取り組みとしては、お客様に安心してJTグループの商品を選んでいただけるように、食の安全情報の公開や工場見学に力を入れています。「組織・体制の強化」については、グループ全体として安全管理を推進する体制づくりが課題と考え、食の安全を一元的に管理する独立した組織として「食の安全管理担当」を設置するとともに、外部有識者を「食の安全に関するアドバイザー」として招聘し、グループ全体の取り組みに対して評価・助言を受けています。

くらしの源である「食」に関わるメーカーとして、安全の追求は終わりのない取り組みです。常においしく、安心してお召し上がりいただける商品づくりを目指し、引き続き最高水準の安全管理に取り組んでいきます。



飲料事業部長
永田 亮子



テーブルマーク(株)社長
日野 三代春

食品事業におけるCSRの取り組み

JTグループの「食の安全ポリシー」

JTグループの食品事業では、安全でかつ安心しておいしくお召し上がりいただける商品をお客様に提供していかなければならないと考えています。そのために「食の安全ポリシー」を定めてグループ全体で共有し、あらゆる活動の基本としています。

「食の安全ポリシー」では、お客様の安心のために、私たち一人ひとりが食の安全に向けて最大限の努力と工夫をすするとともに、お客様の声をより安全で品質の高い商品の提供に生かしていくことなどを宣言しています。

リスク低減に向けた取り組み

冷凍加工食品については、自社グループ工場と生産委託を行っているすべての工場において、食品安全に関する国際規格であるISO22000を取得しています。また、外部からの意図的な攻撃に対するフードディフェンス(食品防御)※にも取り組んでいます。取り組みの内容はセキュリティ体制の構築で、具体的には施設、水源、有害な化学物質等の管理徹底をはじめ、従業員及び来訪者の必要区域以外への立入制限や私物の持ち込み制限などが含まれます。これらの内容を定めたフードディフェンスプランを作成し、製造協力工場や配送センターへ導入しています。



工場でのフードディフェンスミーティング

※ 計画的な、または故意による意図的な攻撃(食品汚染等)から食品を守るための手段

組織・体制の強化

JTグループでは、テーブルマーク(株)と飲料事業部門それぞれに「食の安全管理担当」を設置し、相互に連携しながらグループ一丸となって取り組みを進めています。

さらに、外部専門家からなる「食の安全に関するアドバイザー」から評価や助言を受け、それを事業活動に反映しています。

テーブルマーク(株)
URL www.tablemark.co.jp

お客様への対応の強化

食に関する情報をお伝えする取り組み

JTグループでは、お客様に安全で、かつ安心して商品をお召し上がりいただくために、食の安全への取り組みをホームページなどで積極的に公開しています。飲料事業では、商品の原材料や栄養成分、商品開発からお客様対応に至るまでの品質保証の取り組みなどを紹介しています。

テーブルマーク(株)では、ホームページで商品の生産工場や主な原材料の産地などを知ることができるパッケージ表示の見方やフードチェーンにおける食の安全への取り組みを紹介しています。ホームページの「おいしさ検索」のコーナーでは、「たきたてご飯」シリーズのパッケージまたは製品トレーに記載された賞味期限から、商品の生産履歴(原料米の産地、仕入先、製造工場、製造日など)を調べることができます。また、具体的な製造工程の紹介にも力を入れており、魚沼水の郷工場での工場見学の実施やホームページにおけるバーチャル工場見学などを実施しています。



魚沼水の郷工場の見学通路

お客様の声を生かすために

JTグループでは、お客様から寄せられた貴重なご意見を関係部門にフィードバックし全体で共有することで、商品開発や品質改善に反映させています。

商品改善の事例	お客様の声	改善事例
飲料水「越後の名水」	「ペットボトルのラベルをはがす際、切り取り部分に何も書いていないのがしにくい」	ミシン目部分に「きりとり線」の表示を追加しました(2012年5月製造分より)。
飲料製品全般	「賞味期限の読み方が分かりづらい」	これまで賞味期限を西暦(下二桁)+月+日(101029)で記していたものを、西暦+月+日(2011.10.02)と変更しました。

JTビバレッジ Webサイト
URL www.jti.co.jp/softdrink